

§ 協会の動き（平成28年10・11分）

☆ 平成28年度新入社員フォローアップ研修を実施

[人材育成委員会事業]

平成28年度10月27（木）～28日（金）に別所沼会館ヘリテイジ浦和にて、平成28年度フォローアップ研修を実施いたしました。本年度は、4月に開催いたしました「新入社員研修」の受講者を中心に、まだフォローアップ研修を受けていない入社3年以内の方も対象として実施いたしました。

内山人材育成委員長は「研修の趣旨は、改めて入社時の自分を見つめなおすことにあります。本日もPDCAの説明がありますが、中でもDが重要です。自分で思ったことをやってみる。やった後で、どうだったか確認することが一番大切だと考えます。行動に移してその結果を自分の中でもう一度整理して、次のステップアップに活かしていただければと思います」と、参加者の今後の飛躍に期待した。

1日目はオリエンテーションの後、井島鈴子氏を講師に迎え『コミュニケーションと人間関係について考え方理論と実習により問題処理能力を高める』をテーマに、自分を育てるためのPDCAについての再確認と、職場でのコミュニケーションについて、又職業人の言葉遣い、ビジネス文書、クレーム電話への対応などを学習した後ロールプレイングを行いました。1日目講習後は人材育成委員を交えての懇親会で、受講生間の交流が図られました。2日目はSEEDOの関根康明氏が『安全及び伝記管理技術』をテーマに、関連法令から電気工事の基本、建設現場での危険回避、これから電気工事業の見通しについて講習を行いました。2日目終了後の閉会式では受講者に修了証が授与されました。



☆ 埼玉県民の日 県庁オープンデーに出展

[人材育成委員会事業]

11月14日埼玉県民の日、県庁で開催された県庁オープンデーに（一社）埼玉県電業協会として出展しました。

このイベントは、県民の日に県庁舎や県議会議事堂、知事公館を開放し、知事室や県議会の議場などの施設見学のほか、県政資料の配布やパネル展示など、庁舎内でイベントを行うことで県民に県政の理解と関心を深めてもらうことを目的として開催されました。当協会ではこの趣旨に賛同し、また、電気工事業を広く県民に知ってもらうため、人材育成委員会が中心となり参加することとなりました。県民の日はお休みになる県内の学校も多いため、お子様やご家族連れなど多くの方にお立ち寄りいただきました。

会場テント内では【エコ工作コーナー（エコバッタ）】を実施しました。100名近くの子供たちが細かい作業に悪戦苦闘しながらも、完成したバッタが光を浴びて動き出すのを見て歓声を上げていました。テント前では【エコ発電コーナー（自転車発電）】を実施しました。体験した子供たちは、電球の種類によって点灯するまで漕ぐ力が違うことに驚いた様子でした。



「コバトン・さいたまっち」



☆ 第2回企業対策セミナーを開催

[企業対策委員会事業]

11月18日(金)埼玉教育会館にて、東日本保証㈱埼玉支店様との共催で第2回企業対策セミナーを開催いたしました。当日は協会会員企業の代表者および営業担当者などおよそ30名が参加。テーマは「マイナンバー(番号)制度と建設業者(民間事業者)の対応～建設企業が行わなければならないこと～」で、税理士法人あすなろ代表の森谷修一氏を講師に迎え、個人番号カードの特性と今後の本格的な運用の見通しについて90分にわたり解説して頂きました。

岡村会長は「前回は設計変更ガイドライン、工期成績、総合評価などについて話しがありましたが、今回はマイナンバー制度と建設業ということでご講演いただきます。この企業セミナーはもともとは営業セミナーという呼び名でした。協会にとって受注機会拡大のための活動が大きな柱です。埼電協の月間ニュースを事務局が一生懸命つくっていますので、ぜひ目を通してもらえば、協会の動きが分かってもらえると思います」とあいさつしました。

セミナーは制度の目的と役割、個人番号カード、やるべきこと一覧、収集方法、保管と廃棄、マイナンバー委託、安全管理措置、本人確認などのメニューに沿って進められました。

セミナー後は会場を変えて出席会員の懇親会を開催し、支部を越えた会員間交流を活発に行いました。

